

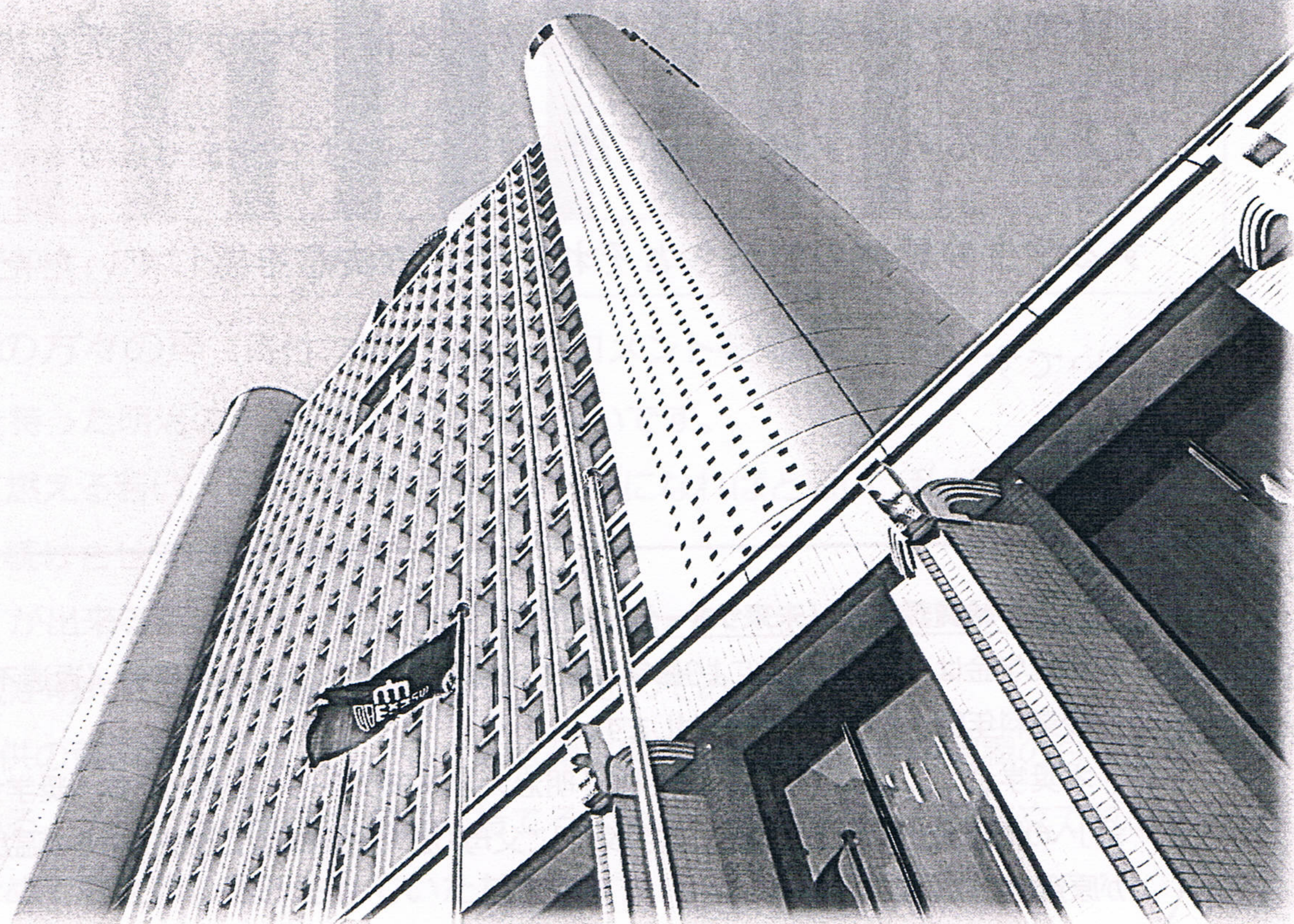
明治大学未来サポーター給費奨学生

感謝のことば

2018【抜粋版】

M

SUPPORTER



「感謝のことば」について

「未来サポーター募金奨学金」を受給することになった学生には、寄付者に対するお礼を手書きで提出してもらっています。それらを「感謝のことば」という冊子にまとめ、寄付者の方にお送りすることで、学生の感謝の気持ちをお伝えしています。

1・2年生は明治大学に入学した理由、大学生活で挑戦したいことを、3年生は将来の目標・目指す進路を、4年生は大学生活を振り返った想いを込めています。

本冊子は今年度作成した「感謝のことば」の中から一部を抜粋してまとめたものです。全てをご紹介することはできませんが、寄付に対する学生の感謝の気持ちとそれに応える決意を感じていただければ幸いです。

明治大学給費奨学金（未来サポーター給費奨学生）

本奨学金は、経済的理由により修学困難な学部生を対象とした給費奨学金（返還不要）です。授業料年額1/2相当額を給付します。

本奨学金は、2010年度に創設された「明治大学未来サポーター募金」のうち、「奨学サポート資金」への寄付金から支給されます。本学校友・ご父母・法人企業様など、諸先輩からの温かいご支援が原資となっています。

■ 2018年度未来サポーター給費奨学生採用結果

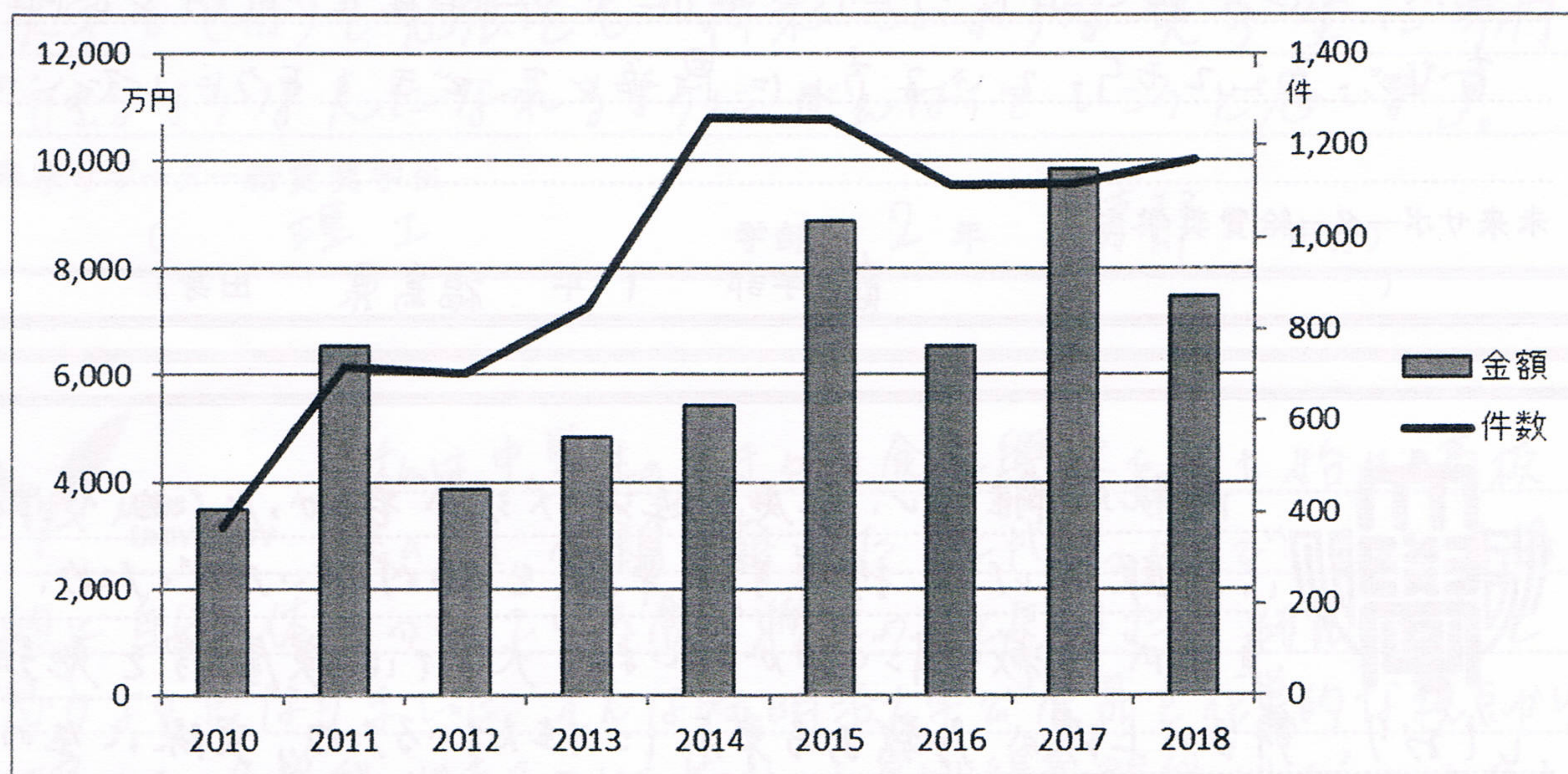
学部	応募者数	採用者数	学部	応募者数	採用者数
法学部	142	21	農学部	108	14
商学部	118	18	経営学部	94	6
政治経済学部	148	16	情報コミュニケーション学部	85	12
文学部	180	18	国際日本学部	88	12
理工学部	171	26	総合数理学部	74	7
			全学部 計	1,208	150

■ 奨学サポート資金 寄付実績

(金額は万円)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	計
件数	369	719	702	849	1,260	1,255	1,116	1,118	1,171	8,559
金額	3,474	6,547	3,853	4,827	5,432	8,874	6,533	9,846	7,494	56,880

<寄付実績の推移>



■ 寄付者の方々の声 (寄付の際に頂戴したコメントを掲載します)

- ・ 高い志を持った明治の学生の助けになれば幸いです。
- ・ 向学心に燃える若い人達の可能性を伸ばす一助になればと思い、私が現役でいる間は支援を続けさせていただきます。
- ・ 少額ですが出来るだけ毎年したいと思っています。
- ・ 多くの方が明大で勉学の機会を得られることをのぞみます。
- ・ 昨今の子供の貧困が6人に1人いるとの広報に愕然とし自身の世情認識の甘さを反省している。子供たちの未来に希望が持てるためにも小力ながらお役に立てればと考え、せめてもと申し込みさせていただきます。
- ・ 「明治が母校でよかった！」そんな先輩より。
- ・ 優秀な学生が経済的理由で進学を断念することがないように。



この度は採用していただきありがとうございます。僕は明治大学に入学してたくさん人と出会い、とても刺激のある毎日を送っています。今までとは異なり、一人暮らしをして身の回りのことを全て自分でやるようになり大きく成長できました。将来の目標が具体的に決まっていりませんが、大学で学べながら自分のやりたいことや、自分に向いていることを探しています。大学生のうち、短期留学をしてみたいと考えているので、奨学金は学費に充て、留学の費用はアルバイトなどで賄おうと考えています。充実した大学生活を送り、自分の将来についてしっかりと考え、一生の思い出をつくり、家族や奨学金を寄付して下さい。お返しができたら、ぜひお返しをできるようにしたいと思います。

未来サポーター給費奨学生

(

商 学部 1 年 福島県 出身)



両親が離婚し、家庭の経済状況が苦しかったため、奨学金に出願しました。授業料の半額を給付していただくため、負担が軽減でき、助かっています。大学では演劇学を勉強しており、舞台の上演が多数ある東京に住んでいるため、実際に生の演劇を劇場に見に行きたいと考えています。また、英語やフランス語などの語学の学習も積極的にしようと思っています。会話の授業やセミナーなどに参加しようと考えています。そして、長期の休みには小説の執筆をしたいと思い、日頃から本をたくさん読む心がけをしています。お金の心配をすることなく、日々勉強に励むことができることに感謝し、今後も頑張っていこうと思います。本当に助かっています。ありがとうございます。

未来サポーター給費奨学生

(

文 学部 1 年 大阪 出身)



私は将来 S I 関係の仕事につきたいので情報科学科のある明治大学に入学しました。母子家庭なので都から奨学金を借りているのですがそれだけでは足りないのび、アルバイトをしなければいけませんでしたが、今回奨学金を頂けることでその量を減らすことが出来ます。その分学業に集中することが出来ます。昨年も奨学金を頂いたのですが、そのおかげで学科で 2 番目の成績をとることができました。寄付者の方々にいただいたチャンスを無駄にしないように今年も勉学に励んでいこうと思います。大学でしっかりと勉強をし将来このような奨学金に寄付できるような人になれるようにがんばっていこうと思います。

未来サポーター給費奨学生

(理工

学部 2 年 東京都 出身)



私は中学生のときから食に興味を持ち始め、高校生のとき、体調を崩したことがきっかけで、もっと本格的に自分の体をつくっている食べ物について知りたい、研究したいと思うようになりました。そんな時明治大学で食品を化学的な視点から研究している学科があることを知り、化学が得意教科だったこともあり、絶対にこの学科に入りたいと強く思いました。私は母子家庭で経済的に私立大学に進学することは厳しい状況でしたが、母に無理を言って明治大学に入学させてもらいました。今年から妹も大学に進学したので、家計にかかる学費の負担が昨年以上に増えてしまいましたが、未来サポーター給費奨学生に採用させていただいたことで、母にかかる学費の負担を減らすことができたので本当に感謝しています。これから奨学生として恥じないようしっかりと勉学に励んでいきたいと思っています。

未来サポーター給費奨学生

(

農 学部 2 年 栃木県 出身)



この度は、未来サポーター給費奨学生として採用していただき、
こととなり、バから感謝しています。私は、小さい頃に父を亡くし、
自分を含める人の子どもを育ててくれた母の負担を少しでも
減らしたいと思って応募しました。大学に通うにあたり、家庭収入も多くない
ので、こちらの奨学金を全学費に充てることができ、本当に助かりました。
大学生活の中で、母と兄弟そして今回のように支援いただける方が
つらいときでもいかり努力しようというモチベーションには、しています。
目指す進路は、まだはっきりとは決めきれないのですが、昔から国際
関係に興味があるので、学部間共通外国語をとりこみ、今後も
学部にとらわれすぎることなく、できる限り多くのことを学んでいきたいと
考えています。最後になりますが、改めて、このような学べる環境を可能に
して下さい。本当にありがとうございます。

未来サポーター給費奨学生

(

法 学部 3 年 長野県 出身)



私の父は2年前に失業してしまいました。また、母は体調を
崩し、長らく入院していたため、思うように働くことができません。
そのため、私は、アルバイトをし、自分で学費を払っています。
家事とアルバイトと勉学の両立は大変で、時には辛いことも
ありますが、毎日頑張っています。
私はずっと留学を夢見ていましたが、金銭的な問題で諦めてしま
した。しかし、奨学金を支給して頂いたおかげで、留学を決心するこ
とができました。私は、中学生の頃から発展途上国の国々に興味を持っ
ており、将来は国連などの国際機関で働きたいと思っています。この夢
を実現する為にも、留学先では語学だけでなく、幅広い知識を吸収して
きたいです。この度は、未来サポーター奨学生に採択して頂き、本当にありが
うございます。皆様の期待に応えられるよう、これからも邁進していきたいと思
います。

未来サポーター給費奨学生

(

政治経済

学部 3 年 千葉県 出身)

4年間のあゆみ (情報コミュニケーション学部 4年兵庫県出身)

明治大学に入学を決めた理由、1年次で取り組んだこと

「メディアについて学びたい」という理由で、東京所在かつ新設でチャレンジできる機会が多そうな学部を選びました。1年次は、「こんなアプリがあれば明大生の生活が充実しそう」というアイデアを友人と考案し、学内のeプレゼンテストに出場し、佳作を頂きました。

2年次で取り組んだこと

4月に発生した熊本地震支援に取り組みました。避難所での高齢者支援や半壊・全壊住宅から家財を運び出す地道な復興作業を繰り返しました。現在まで計6回、熊本に足を運んでおり、現地の方々との出会いや経験は非常に大きいです。

3年次で取り組んだこと

「地域で頑張る人にスポットを当て、彼らを全国から集めた大学生がドキュメンタリー映像にまとめる」という映像制作合宿を仲間と企画し、代表を務めました。200人近い観客動員や地元テレビ局・東京新聞に取材して頂きました。

4年次で取り組みたいこと、取り組んでいること

「今しかできない“失敗”を繰り返して学びたい。失敗が許される今だからこそ、たくさん人の国や地域の人と出会って最大限自分にはないものを吸収できる一年にしたいと思います。また、現在実家で在宅介護をする母を支えたいです。

将来の目標・目指す進路

現状来年から営業系の仕事に就く予定です。そこで経験を積み、将来的には「若い世代の人が一つも多く選択肢を持つる社会の実現」に向けて活動したいと思います。

寄付者の皆さまへ 感謝の気持ち

私は4年間、給費奨学生に採用して頂きました。地方出身の弟が2人いる私にとって、この奨学金を頂いたことで日々安心して勉学に取り組むことが出来ました。私も卒業後は皆様のように大学や後輩に貢献していきたいです。本当にありがとうございます。



2019.7.28

お問い合わせ先

大学支援事務室 03-3296-4057・4059